

第2回石見神楽伝承内容検討専門委員会議事録

1 開催概要

日 時 令和6年6月27日(木) 18:30~20:25

場 所 浜田市立中央図書館 多目的ホール

出席者 別紙名簿のとおり

2 議事次第

(1) 会長挨拶

(2) 報告事項

- ① 第1回専門委員会における主な意見について【資料1】
- ② 今後の専門委員会での検討テーマ(案)について【資料2】

(3) 協議事項

- ① 石見神楽の保存・伝承すべき内容の検討(グループワーク)【資料3】

3 議事録

(1) 会長挨拶

豊田会長より挨拶。内容は以下のとおり。

豊田会長	1か月前に第1回専門委員会を開催し、今日が2回目となります。前回は、皆さんの非常に熱い想いを聞かせていただきました。色々な意見が出ましたが、皆さんの願い・想いは同じ方向に向かっていると感じました。 今回は、前回の意見交換を受け具体的に何をどのように残していくのかという意見を集約していきたいと思いますので、積極的に意見を出していただければと思います。
------	--

(2) 報告事項

- ① 第1回専門委員会における主な意見について【資料1】

事務局より資料1に基づき説明。

- ② 今後の専門委員会での検討テーマ(案)について【資料2】

事務局より資料2に基づき説明。

(3) 協議事項

事務局より資料3に基づきグループワークの進め方について説明し、各グループにて意見交換を行った。それぞれのグループの意見等の概要は別紙のとおり。

事務局より事務連絡

事務局	・石見神楽の保存伝承に関する個別ヒアリングの実施について、依頼文に基づき説明。 ・次回専門委員会の案内 日時：7月30日(火) 18時30分～ 場所：中央図書館
-----	---

グループワーク意見：Aグループ
テーマ「何を保存・伝承すべきか」

区分	保存・伝承すべき内容	理由等
神楽産業・ものづくり	① 神楽道具 (面、衣裳、蛇胴等) ② 浜田発祥の神楽産業	① 有形のものほど失われやすい(劣化や災害リスク)、唯一無二 ① 学ぶ機会がない、浜田の自然や歴史とあわせて理解したい ① 石見地方以外の多くの地域で使用されている ② 浜田のものづくりと職人の凄さを知ってほしい
舞い	① 儀式舞 ② 社中、流派ごとの違い ③ 音、楽譜 ④ その時代時代のもの、進行する神楽 ⑤ 伝統も守り、新しいものも取り入れる、二面性 ⑥ 子ども達にとって憧れの存在、ヒーロー	① 神楽の基本動作、起源 ② 浜田の中でも違いがある ③ 奏楽の楽譜みたいなものがないので、始めたくても始めにくい ④ 石見神楽は変化・進化していくもの ⑤ 求められたら応える浜田人の心意気
歴史・伝統	① 歴史、変遷、特徴 ② 奉納神楽の文化 ③ 県外・海外公演の歴史 ④ 色々なエピソード ⑤ 想いを持って伝承している方々	① 学ぶ機会がない ② 石見地方独自の文化であり、本来の姿。集いの場(やじ、お酒、子どもも夜更かし) ③ 石見神楽の凄さ、自慢の芸能であることを再認識できる ④ 本に書かれていない面白さや魅力がある ⑤ 生き方から子ども達が学ぶことがある

※特に危機感を感じていること

- ・ 神楽産業の継承
- ・ 舞手がいない

※保存・伝承の取組に関する意見

- ・ 神楽産業の研修制度
- ・ 神楽産業がきちんと食べていけるように

※情報発信に関する意見

- ・ メディアの力
- ・ 来てもらうには？どう呼ぶか？

グループワーク意見：B グループ
テーマ「何を保存・伝承すべきか」

区分	保存・伝承すべき内容	理由等
神楽産業・ものづくり	① 現在活躍されている石見神楽の伝統のものづくりの技術と工房（商号）の継承 ② 古い衣裳や面（社中にそれぞれ保存） ③ 浜田で創始制作された神楽のものづくりの軌跡の調査 ④ モノづくりの技術 ⑤ 石州和紙との関連性	① 継承者の育成、事業としての確立 ② 昔から大事に扱われてきた
舞い	① 神楽台本の軌跡の調査（台本の評価と扱い）（30 台本のうち 7～8 本が儀式舞） ② 神楽の舞の演目 ③ 奉納神楽 ④ 神楽社中の保存	② 舞は変化していくものだから、体系的に映像でしっかり残す必要がある。特になくなっていく舞があるのが現状 ③ 神楽は神様に見せて楽しんでもらうもの
歴史・伝統	① その時代ごとの資料や歴史の調査保存、記録 ② 石見神楽の発祥 ③ 浜田の石見神楽とは何か ④ 石見神楽に関わる伝統文化や奇祭の保存伝承と支援（長浜地区の海上渡御など） ⑤ 他のものとの関連性の整理 ⑥ 子どもたちに神楽を伝承する	① 石見神楽の発祥の地として史実な伝承（浜田市民の誇り） ② 神楽を生み出したまちであることを語りつくせることが大切 ③ 当地において石見神楽がなぜ生まれたか ④ 石見神楽といってもその地域によっては広い ⑤ 田ばやしも六調子と八調子がある大元神楽との違いの整理（託宣（託舞）との関連性） ⑥ 高齢化や後継者不足により、存続が危ぶまれる社中がある

※共通事項

- ・ 本物を継承することが重要、神楽にまつわる伝統文化を合わせて保存
- ・ 研究することも重要。行政でしっかり調査し、とりまとめることが必要

※保存などの方策に関する意見

- ・ 神楽舞の文化財指定（〇〇社中の〇〇）：他地域では文化財指定されている
- ・ 後継者育成⇒体験学習が有効、見る人からする人へ熱中する人がいたからこそ存続してきた。「かつこいい、憧れの存在」

※観光との連携

神様も地域活性化を喜ぶと思うので、観光に寄与することも重要

- ・ 「まちづくり」と一体的な取り組みが大切、「石見神楽を創り出したまち浜田」